

# 委員長からのメールです

## この子供達を心から応援したい 養護施設の「絵画コンクール」

流通制度委員会委員長 石山敬達



11月13日、福岡市中央区天神のソラリアプラザ1階「ゼファ」広場で、「ぱちんこ・パチスロファン感謝デー」のプレイイベントとして、「第4回こども絵画コンクール」の作品展及び表彰式が開催され、私も九遊商の理事長として出席させていただきました。

「こども絵画コンクール」とは、福岡県下の児童養護施設の子供たちを対象にした絵画コンクールで、

会が社会貢献活動の一環として2008年に実施にこぎつけ、今年で4回目となります。協賛は日遊

協九州支部、九遊商、回胴遊商九州・沖縄支部等々で、後援は福岡

県警、福岡県防犯協会連合会、福岡県児童養護施設協議会です。

福岡県には乳児や児童の養護施設が19校あります。本人の責任ではないのに両親と普通の生活をする機会に恵まれない子供たちの生

活の場がそこにあるのです。心や体に傷を負った子供たちもいるとのことです。

名前が公表されると困るために氏名を明記できない作品もあります

福岡県には乳児や児童の養護施設が19校あります。本人の責任ではないのに両親と普通の生活をする機会に恵まれない子供たちの生

活の場がそこにあるのです。心や体に傷を負った子供たちもいるとのことです。

名前が公表されると困るために氏名を明記できない作品もあります

名前が公表されると困るために氏名を明記できない作品もあります

名前が公表されると困るために氏名を明記できない作品もあります

名前が公表されると困るために氏名を明記できない作品もあります

た。表彰式に出席している子供た

ちを見ていると、照れ笑いを浮かべながら笑顔の子供もいます

が、一様に大人しい静かな雰囲気に私の

勝手な想像も手伝つて何かしら胸が痛みました。

養護施設協議会の副会長によりますと絵を描くことになかなか没頭できない子が多いらしく、それでも13校から229人の子供た

が作品を完成させて参加してくれました。毎年、テーマを決めて作品を募集しておりますが、今回は「絆」と「どうだち」でした。友達との交流や団体スポーツのプレー風景を描いたもの、動物や生物との「ふれあい」を描いたもの、そして家族との団欒を描いたものなど多種多様で、私にとってはどれも素晴らしい作品でした

が、順位は付けないといけないわけです。表彰された子はもちろんのこと、表彰されずとも期



最近、家庭内暴力によって弱い子供が傷つけられ死に至るという痛ましい報道が増えていることは悲しい現実です。子供はみんなの宝です。

運悪く逆境に陥った子供たちを引き上げ、きちんと教育を受けられる環境を作ることは社会の責任であると思います。そして、そのような子供たちの心に明るい日差しを注ぐことができる「こども絵画コンクール」が今後も継続して開催されるよう、努力を惜しまず協力していくたいと思います。

頑張れ！福岡県遊協青年部会殿。

▲表彰式の子供たち。  
会場には作品も展示されている

そりんのこと、表彰されずとも期

が彼らのこれから的人生に少しでも役立つてくれればと願わざにはいられませんでした。